

施策評価表

平成28年度分

① 施策コード	5・2・1					
② 施策名	先導的な省エネルギー化の推進	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎
③ 目標	自然や木々の緑の豊富さに満足している町民の割合			施策の内容	低炭素社会の実現と限りある資源の有効利用のため、行政が率先して環境に配慮した取組みを進めるとともに、町民一人ひとりの省エネルギーへの意識の向上と行動の重要性について広く町民に呼びかけ、周知を図っていきます。	
④ 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地球温暖化、オゾン層破壊、天然資源の枯渇、廃棄物の増加など様々な環境問題を背景に、環境へ配慮した取組みが以前にも増して強く求められています。 ◆ 化石燃料の使用拡大が地球温暖化に大きな影響を与えるといわれる中で、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーが注目されています。自然環境に恵まれている本町にあっては、地球温暖化への影響が最も大きいとされる二酸化炭素を吸収する森林の保全・育成とともに、潜在的なエネルギーの活用について検討し、環境負荷の軽減に努めていくことが必要です。 ◆ 近年急激に進む人口減少や高齢化の影響を受け、荒廃した山林や耕作放棄地などが増加していますが、こうした土地を適正に管理するため、「国土利用計画」を見直し豊かな自然環境の保全に努めていく必要があります。 					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
公共施設等のエネルギー使用量の削減率	%	—	△ 5.6	△ 1.0				
公共施設の省エネルギー化率	%	10.0	16.2	13.7				

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	0	1,944	0	3,000	263,000

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	役場庁舎冷暖房設備の老朽化のため実施設計を行い、改修計画を作成した。 目標指標の公共施設等のエネルギー使用量の削減率については、年間を通しての削減はできなかったが、省エネルギー化率については、天候の良い日が多かったため太陽光発電の発電割合が目標を上回った。	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要

今後の取組

⑩ 今後の取組	役場庁舎冷暖房設備改修については、実施設計を行い改修計画を作成するとともに、職員に省エネルギー行動を周知削減に努める。 公用車管理計画に基づいて、環境対応車(エコカー)への更新を進めていく
---------	---

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	拡充	【説明欄】 今後も役場庁舎冷暖房施設の改修や、計画的に環境対応車(エコカー)の公用車購入が実施できるように、特に財源の確保策の検討を行い、省エネルギー化の推進を進めて行く。
委員会評価	拡充	【委員会意見欄】 引き続き役場庁舎冷暖房施設の改修や、計画的に環境対応車(エコカー)の公用車購入が実施できるように、特に財源の確保策の検討を行い、省エネルギー化の推進を進めて行くこと